

くまもと未来ドクター塾

地域と世界をつなぐ科学技術のリーダーを育てる

地域の自然環境や産業をテーマに、次世代の科学技術人材を育てるプログラムです。

子どもたちが環境問題や半導体産業などの地域課題を学び、持続可能な未来のための探求を行います。

2025

募集期間

6/15

まで

1年目

40人程度

くまもと学探検コース

「熊本県内（阿蘇、熊本、沿岸）で、それぞれの地域の特色を活かしたフィールドワークや実習を実施します。」

※定員に満たない場合は延長の可能性もあります。
※応募者多数の場合志望動機の作文や面接から受講生の選考を行います。

2年目

10人程度

くまもと未来ドクターコース

さらに研究に対して強い意欲がある人は、大学の研究室において研究活動し、探究心を育てながら成果発表にチャレンジします。

対象

熊本県とその近隣地域の
小学5年生から中学3年生までの
児童・生徒

プログラム概要

半導体生産に欠かせない地下水の保全が課題となっており、自然と産業が共存できる人材の育成が急がれています。また、地域の課題を理解し、持続可能な社会を目指すグローバルな人材育成も重要です。熊本県内（阿蘇、熊本、沿岸）それぞれで、自然や産業の特色を本学の講義や実習で学び、本人の意欲を支える探究の環境も整えています。

本学は、水循環や地域のDX推進に貢献できるグローバル人材、そして地方創生に貢献できる未来のドクター（博士）を育てます。

地域と世界の環境問題やサステナビリティを考えたイノベーションを起こすことが、このプログラムの目標です。

未来ドクター塾ココがポイント

熊大の先生が
授業します



全国の同じような
プログラム受講生の
代表が集うカンファレンスで
研究発表・交流する機会に
チャレンジ出来るかも！



年代に合わせた
解りやすいレクチャー



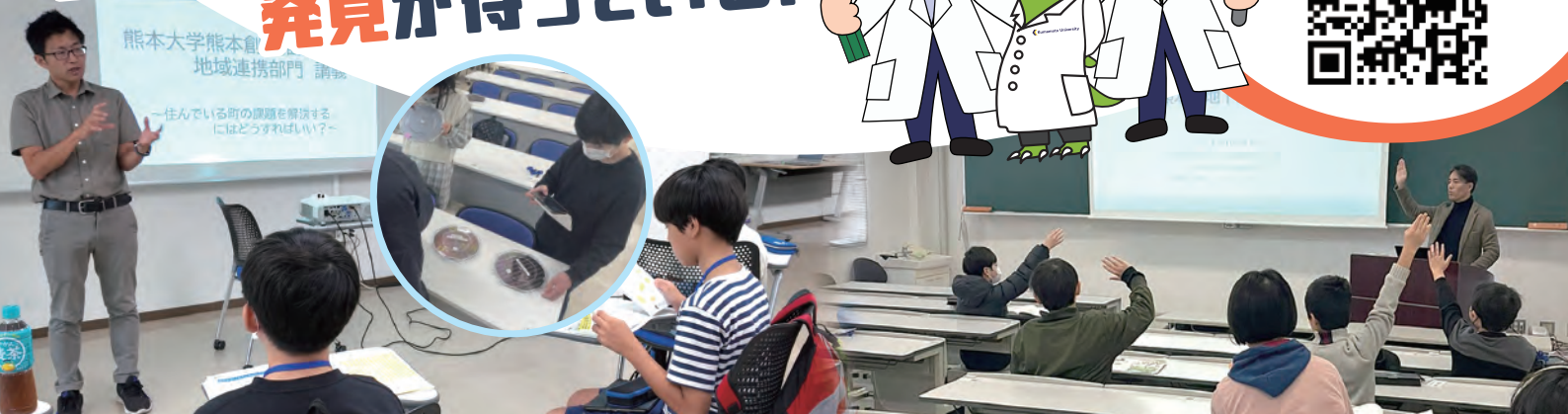
学校を超えた
興味関心が同じ
友達が出来ます



応募・詳しい内容は
ホームページへ



ワクワクする体験と 発見が待っている！





くまもと未来ドクター塾

主な授業&活動

募集期間

6/15  まで

応募フォーム



皆さんが住む熊本の特色を阿蘇のカルデラを中心とした自然環境について学ぶ「阿蘇クラス」、熊本平野一帯における水資源に支えられている人の活動や自然環境について学ぶ「熊本クラス」、熊本の地下水が行き着く先としての有明海・八代海の沿岸地域の自然や課題を学ぶ「沿岸クラス」3つに分けて学びます。

阿蘇
クラス

- 阿蘇の火山のはなし
- 阿蘇での人のくらし
- 阿蘇の草原のはなし
- 生態系サービスって何かな？

熊本
クラス

- 熊本の地下水
- 半導体のはなし
- 恐竜たちがいた熊本
- 熊本地震に学ぶ

沿岸
クラス

- 熊本の沿岸環境を学ぶ
- 天草崎津のまちづくり
- 「恐竜の島」御所浦

共通
科目

- 水の循環
- データサイエンス
- 研究倫理
- 熊本と台湾
- 住んでいる町の課題を解決するにはどうすればいい？
- 産業のスマート化
- デザイン思考と海外におけるものづくり
- 夢科学探検を見学
- 高校生の研究発表会『学びの祭典』を見学



※授業内容は変更の可能性があります。

実際に
参加した
生徒の声

研究倫理の授業が印象に残っています。研究ってその莫大な何か、目標みたいな感じでちょっと難しいかなって思ったんですけど、学ぶとそんなに難しいもんでもなくて、すごく印象に残っています。このくまもと未来ドクター塾で学んだことを将来の仕事とかに知識を生かせたらなと思います。

自分が印象に残ったことは、熊本地震のことについてです。フィールドワークで断層がどこにあるのかとか、地震がまずどのように発生するかとか、基本的なことから、教科書に書いていないことまで学べました。これから教科書にないことも積極的に自分から学んでいきたいと思いました。

よくある
質問

Q

授業は
どこでありますか？

A

基本は熊本大学黒髪キャンパスになります。
阿蘇や天草など遠方での実習をする場合には、熊大に集合してバスでの移動などになります。

Q

対象学年なら
何回も参加できる？

A

残念ながら1人1回(最長2年)しか参加できません。しかもこの取り組みは令和6年～同10年までのプログラムなので、この貴重なチャンスを逃さないでくださいね！

